

登録コード	SE503300	開講年度	2026				
授業題目	進化生物学特論				担当教員	高橋 耕一 他	
英文授業名	Advanced Course in Evolutionary Biology				副担当	笠原 里恵・松本 卓也・東城 幸治・今津 道夫	
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学年	3年
講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Sカリ, 25Sカリ, 24Sカリ, 23Sカリ						
	【2023年度以降加付対象】理学の各分野における専門知識				セミナーにおいて, 生物学における専門知識を習得できるようになる.		
	【2023年度以降加付対象】専門知識や観察・実験などによって問題を理解・解決し、その成果を的確に他者に伝える力				セミナーにおいて, 問題や研究成果を的確に他者に伝える力を習得できるようになる.		
	【2023年度以降加付対象】理学の基礎知識と専門知識を活用して課題を発見し取り組み、その成果を社会に役立てる力				研究室のセミナーで能動的に発言できるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、環境共生、多文化協働、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	仮配属先の指導教員および研究室構成員との 세미나に確実に出席し、まず質問による発言をできるようになるために、発言のトレーニングを行う。専門分野およびその関連分野の基礎を文献で学ぶ。国際一流誌に発刊された最近の注目論文を紹介する。このためには背景となる文献の読解が不可欠である。異なる研究課題をもつ他者にも読む価値のある、学問的なインパクトの高い論文を読解して紹介する資料を作成するには、何週間もの大変な時間と労力がかかることを、実践により学ぶ。						
(5)授業のキーワード	質問、発言、参加、報告・連絡・相談（ホウ・レン・ソウ）、学術、研究、計画、批判的読解、インパクトファクタ、国際誌、一流誌、学会、学会発表、投稿論文、査読						
(6)授業計画	時間割はない。仮配属先のセミナーに出席するだけでは不可。教員ごとに16回のセミナーを行うが、その日程は教員ごとに異なる。したがって、複数の研究室でのセミナーに参加することができる。 授業アンケートに回答する。						
(7)成績評価の方法	紹介する論文の学術的価値の高さ、紹介するための関連文献学習の深さ・広さ、紹介する情報を独自に図解・図表化する工夫、質疑応答の意欲・実行力をもとに評価する。						
(8)成績評価の基準	セミナーに出席するだけでは合格しない。合格するには、セミナーの事前・事後、すなわち次のセミナーではなく、その前に、担当教員とのホウレンソウ（報告・連絡・相談）ができるようになる必要がある。このホウレンソウを、初めて体験する「時間割のない平日」に行った回数に応じて評価する。セミナーの時間内に行ったものは評価の回数には含まれない。午前中に行った回数は午後に行った回数の2倍にして評価する。						
(9)事前事後学習の内容	セミナーの事後、およびセミナーの事前に、担当教員と対話をする。対話の中身は、必ずしもホウレンソウである必要はない。しかし、コミュニケーションのスキルを磨くには、セミナー以外の時間帯に次のセミナーの準備のためにホウレンソウを行うのが一番簡単にして効率的な方法である。						
(10)履修上の注意	国際一流誌には膨大な数の論文が毎週オンライン発刊される。この中から他者が読む価値のある論文を選ぶには、仮配属先の指導教員とホウレンソウしなくてはならない。各担当教員の指示する参考書、論文などを、事前によく読み、セミナーでの議論に参加する。出席するだけでは不可。						
(11)質問,相談への対応	講義前後に対応する。						
【教科書】	特に指定しない。						
【参考書】	特に指定しない。						